

予防医学

責任者・コーディネーター		衛生学公衆衛生学講座 丹野 高三 教授			
担当講座・学科（分野）		衛生学公衆衛生学講座、医学部			
担当教員		丹野 高三 教授、武田 俊彦 客員教授、小野田 敏行 客員教授、赤坂 憲准 教授、田鎖 愛理 講師、下田 陽樹 助教、岡村 智教 非常勤講師、西 信雄 非常勤講師、坪田 恵 非常勤講師、牟礼 佳苗 非常勤講師、野原 勝 非常勤講師、立身 政信 非常勤講師			
対象学年	5	区分・時間数	講義	19コマ	28.5時間
期間	0		演習	1コマ	1.5時間
			実習	0コマ	0.0時間

・学習方針（講義概要等）

予防医学では医学的な知識や経験を国民の健康維持にどう応用するか、その方法論と具体的な社会制度を学ぶものである。疾病予防にとどまらず法律や行政の仕組み、医療費などの医療経済に関わる点まで含んで「健康」というキーワードで俯瞰する学問分野である。講義は演習を含み、講義時間内に基本的な知識、技術の習得を目指す。

・教育成果（アウトカム）

健康状況の把握方法や、生活習慣や労働による疾病予防の方法論を学び、施策、行政との関連などを学ぶことにより、疾病予防の重要性について説明できる。また、「健康」の概念の理解とその予防方法について学ぶことにより、予防における医師の果たす役割を説明できる。さらに、将来医師として社会に関わる際の医療制度、保健活動の基本的な仕組みについて学ぶことにより、社会における予防の重要性について説明できる。

（ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,6,7,8 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	予防の概念について説明できる。
2	地域保健の仕組みと保健所について概略を説明できる。
3	医療制度と医療保険制度について説明できる。
4	介護保険制度について説明できる。
5	母子保健制度の仕組みについて概略を説明できる。
6	感染症の予防と法制度について概略を説明できる。
7	我が国の主要死因の内訳と動向を説明できる。
8	栄養と健康の関わりについて説明できる。
9	循環器疾患の危険因子について概略を説明できる。
10	がんの危険因子について概略を説明できる。
11	生活習慣病の概念とその予防法について説明できる。
12	学校保健制度の仕組みについて概略を説明できる。
13	国際的な保健問題について概略を説明できる。
14	精神保健の仕組みを説明できる。
15	障害者（含、難病患者）の医療と福祉について説明できる。
16	産業保健における疾病の管理予防について概略を説明できる。
17	健康の社会的決定要因(social determinant of health)を概説できる。

・講義場所

講義：東1-D講義室

・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
講義	9/17(火)	1	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	予防医学概論	1
講義	9/17(火)	2	医学部	武田 俊彦 客員教授	医療政策	2,3,4
講義	9/17(火)	3	衛生学公衆衛生学講座	下田 陽樹 助教	主要疾患とその動向	7
講義	9/17(火)	4	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	障害者の保健と福祉（難病、精神保健を含む）	14,15
講義	9/18(水)	1	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	保健医療制度と医療資源	2,3
講義	9/18(水)	2	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	地域保健・成人保健	2,3
講義	9/18(水)	3	衛生学公衆衛生学講座	岡村 智教 非常勤講師	循環器疾患の危険因子とその予防	9,11
講義	9/18(水)	4	衛生学公衆衛生学講座	赤坂 憲 准教授	生活習慣とリスク	9,10,11
講義	9/19(木)	1	衛生学公衆衛生学講座	赤坂 憲 准教授	高齢者保健と介護保険制度	4
講義	9/19(木)	2	衛生学公衆衛生学講座	牟礼 佳苗 非常勤講師	がんの危険因子とその予防	10
講義	9/19(木)	3	衛生学公衆衛生学講座	西 信雄 非常勤講師	社会環境と健康	13,17
講義	9/19(木)	4	衛生学公衆衛生学講座	野原 勝 非常勤講師	感染症と関連法規	6
講義	9/20(金)	1	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	母子保健・学校保健	5,12
講義	9/20(金)	2	衛生学公衆衛生学講座	坪田 恵 非常勤講師	国民栄養と食生活	8
講義	9/20(金)	3	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 教授	国際保健	13
講義	9/20(金)	4	衛生学公衆衛生学講座	小野田 敏行 客員教授	労働衛生総論	16
講義	9/24(火)	1	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	産業医の職務と3管理	16
講義	9/24(火)	2	衛生学公衆衛生学講座	野村 恭子 非常勤講師	過重労働・ストレス対策	16
講義	9/24(火)	3	衛生学公衆衛生学講座	立身 政信 非常勤講師	産業疲労と労働安全	16
演習	9/24(火)	4	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	有害業務管理	16

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	公衆衛生マニュアル2024 42版	中村好一、佐伯圭吾 編	南山堂	2024
参考書	国民衛生の動向2024/2025（「厚生指標」臨時増刊号）	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2024
参考書	クエスチョン・バンク医師国家試験問題解説2025 Vol.6-Y 公衆衛生 第41版	国試対策問題編集委員会 編	メディックメディア	2024
参考書	公衆衛生がみえる 第6版（2024-2025）	医療情報科学研究所 編集	メディックメディア	2024

・成績評価方法

【総括評価】
 進級試験成績（MCQまたは論述式）で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。
 【形成的評価】
 講義中に口頭試問や議論形式の評価を行い、学生にフィードバックする。授業参加態度についても評価する。

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。講義資料はWebClassで配信する。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、実習室、PC、インターネット環境

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコンー式PowerMACG5	1	講義資料作成
講義	19インチTFT液晶モニター Flex Scan L767	1	講義資料作成
講義	ノートパソコンPCGX505cp	1	講義時のプレゼンテーション
講義	パソコンー式 (dc5100SF/CTIODATETFT)	1	講義資料作成
講義	ノンホットモデルSATAベースユニット (ML110G3)	1	講義資料の共有
講義	ノートパソコンー式 (Dv9500/CT)	1	講義時のプレゼンテーション
講義	ノートパソコン (R632)	1	講義時のプレゼンテーション
講義	ノートパソコン (CF-LX3YEABR)	1	講義時のプレゼンテーション
講義	カラー複合機 (MP C4503 SPF)	1	講義資料作成
講義	デスクトップパソコン (Optiplex 3020)	2	講義資料作成
講義	レーザープリンター ー式 (IPSIO SP C830)	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン MacBook Air 13inch ー式 (ZOPO)	1	講義資料作成
講義	デスクトップパソコン ENVY700-270jp/CT (G1W55AV-AHBY)	1	講義資料作成
講義	プリンター IPSIO SPC830 ー式 (308993)	1	講義資料作成